



せっかくお正月なのでお餅の話の一つ。あの何ともいえない触感、好きな方も多いことでしょう。もちろん、調理法によっても触感

お餅

えていきます。机上の教育では教えられない課題を考えるにはとても良い教材ではないかと思いました（あくまでもチラシを見ての感想です）。いろいろな家庭で在宅介護の現場に接している僕たちにとっても大変興味深い映画です。

東京では今月二十一日からシネスイツチ銀座と新宿 *Y's cinema* にて公開されます。もちろんエンドロールでは「谷田文郎」さんの名前も探してくださいね。

が変化しますので食べ方にこだわりのある方も多くおられます。しかし、窒息事故が多いのもお餅の特徴の一つです。

残念ながら、僕たちの持っている知識から客観的に考えると、お餅は高齢者に適した食材とはいえません。入れ歯にもくつつきやすく、しっかりと切れていない状態で中途半端に飲み込むとのどにつかえてしまいます。ちよつとマンガのような光景ですが、昨年（平成十七年）の正月三が日、東京都内でお餅の窒息事故で搬送された方は30人だそうです。とにかく気をつけて食べてください。

まったく関係ない話ですが、昨年末、上野の鈴木演芸場で行われた古今亭八朝師匠の会に行った際、ゲストで来ていた永六輔さんのお話を聞く機会がありました。落語の中で、「ご隠居」という方が登場されます

が、実は四十代後半だったとのこと。確かに「人生五十年」でしたものね。ということは、昔の高齢者は若いからお餅をのどにつまらせたりしなかったのかな、などと考えてしまいました。真相はいかに！

お知らせ

昨年十二月いっぱいまで、歯科衛生士の江原さんが退職しました（三月からは非常勤で復帰予定）。二月から新しい歯科衛生士が来ますが、それまでは僕たち二人でがんばります。

また、先月から月・水・金曜日、受付としてミニサロンのパッチワークキルト講師、松尾先生が手伝ってくださいることになりました。何か欲しいパッチワーク作品がありましたら直接交渉してみてくださいね。